**令和６年度　全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて　【算数】　第五葛西小学校**

**「 領 域 別 」 の 結 果**

**正答数分布**

**第五葛西小学校：10.6問** 江戸川区（区立）：10.3問

東京都（公立）：10.9問　　　全国（公立） ：10.1問

平均正答数

＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

|  |  |
| --- | --- |
|  | 上位　　　　　　　　　　　　　　下位 |
| **算　数** | Ａ層14～16問 | Ｂ層12～13問 | Ｃ層8～11問 | Ｄ層0～7問 |
| **第五葛西小学校** | **21.2** | **21.2** | **38.9** | **18.7** |
| 江戸川区（区立） | 25.2 | 19.2 | 29.8 | 25.8 |
| 東京都（公立） | 31.9 | 20.2 | 27.4 | 20.5 |
| 全国（公立） | 23.5 | 19.8 | 30.7 | 26.0 |

|  |
| --- |
| 【平均正答率の差】 |
| **第五葛西小学校** | **66％** |
| 江戸川区（区立） | 64％ |
| 東京都（公立） | 68％ |
| 全国（公立） | 63.4％ |
| 都との差 | **-2ポイント** |

【分析結果と授業改善に向けて】

・平均正答率は、本校10.6問と東京都平均を0.3下回った。正答率分布を見てみると、本校は、Ａ層、Ｂ層よりもＣ層を占める割合が一段と多い結果となっており、D層も一定数存在する。

・全体の平均正答率は、本校が66％と、東京都平を２ポイント下回った。

・「知識・技能」「思考・判断・表現」領域の正答率は、東京都平均より下回っている。

・「数と計算」「データの活用」領域の正答率は、東京都平均より高いが、「図形」「変化と関係」領域の正答率は、東京都平均より下回り、苦手な領域と考えられる。

・個々の苦手な領域を学習カルテにて把握し、繰り返し演習を行う。単元の学習の中では、演習時間を多くとり、児童の実態に合わせて弾力的な指導計画を立て、改善を図っていく。

％

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。